

台風21号が2015年9月28日に沖縄の先島諸島に接近し、与那国島に被害をもたらした。停電の長期化によりドコモの基地局も影響が出るが見込まれたため、陸上自衛隊の協力のもと、現地に対する復旧措置を速やかに実施した。

与那国島現地の被害状況

台風21号による強風のため与那国島では木や電柱が倒れ、電力線や通信線が切断された。離島であるため、現地の復旧作業には駆けつけ含めて長期化が見込まれる状況となった。



可搬型発電機による電力救済

ドコモの基地局設備には停電時でも運用できるようにバッテリーを設置している。しかし、停電が長期化しバッテリーが枯渇する事が見込まれたため、沖縄本土から可搬型発電機を与那国島に搬送し、電源救済を行った。

可搬型発電機の輸送にあたっては、与那国島への船が欠航して交通手段がない中、沖縄県知事からの災害派遣要請に基づく陸上自衛隊(第15旅団)の協力のもと、ヘリによる輸送を行った。



(平時からの訓練)

防衛省とドコモは、災害時における通信の確保のための相互協力に関する協定を締結している。この協定に基づき、平時から、災害時の連携を円滑に行えるよう、訓練を実施している。本事例においても、平時からの訓練により円滑な連携を実現することができた。

